

## JECK 造船首脳会議（2024年10月17日開催）について

第30回 JECK 造船首脳会議が、2024年10月17日、韓国造船海洋プラント協会の主催により、韓国・江陵（カンヌン）市で開催され、日本造船工業会の金花会長、アトランティック造船のキャストン社長、中国船舶工業行業協会の李事務局長、韓国造船海洋プラント協会の崔会長ほか、日本、欧州、中国、韓国の主要造船会社・団体から約80名が出席しました。日本造船工業会からは、金花会長をはじめ、21名が会議に参加しました。

JECK は、新型コロナウイルスの流行による中断を経て、昨年中国にて再開しましたが、米国が JECK 脱退を表明したため、今回は日本、欧州、中国、韓国の4極となりました。

金花会長が行った日本の基調演説では、国際海事機関（IMO）で議論中の中期対策によってゼロエミッション船の導入が進むことが見込まれることから、国際海運のGHG削減目標を確実に達成するため、JECKメンバーが新燃料船の技術開発に一層取り組み、普及促進に努め、グローバルな合意に積極的に関与していくことの重要性を訴えました。



基調演説を行う金花会長

会議では、各極の造船業の概況が紹介されたほか、船種別の市況動向では、各種船種の市況と今後の見通しについて報告がありました。多くの船種において、現在の中東情勢悪化による紅海の混乱等による迂回が運航距離や航海日数の増加につながっており、運賃市況を押し上げる要因になっている点が指摘されました。また、IMOの環境規制強化への動きを受け、現存船を更新するペースが加速化し、その代替需要が見込まれるとの見通しが示されました。

会議後、議長声明が採択され、造船業界がゼロエミッション船等の開発と建造を通じて、2050年ごろまでにGHG排出ネットゼロというIMOの目標達成に中心的役割を果たす中で、様々な課題に対して造船業界が協調を図り、造船業界の持続可能な発展を進め、共同で対処していくことを確認しました。

次回第31回 JECK 造船首脳会議は、2025年10月に愛媛県今治市で開催されます。

2024年10月18日



会議参加者の集合写真